

週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

<先週の説教から>

『母の日合同礼拝—わたしにふさわしい
助け手をプレゼントしてくださる神様』

武田 真治 牧師

創世記 2:18-23

毎週の日曜学校では、教団が発行している『教師の友』に沿って、礼拝の説教箇所が決められています。今日は合同礼拝ですから、こどもたちのことを優先して、その聖書箇所である創世記2章後半のみ言葉に聞きましょう。

神さまはこの世界を創造してくださり、その最後に私たち人間を創ってくださいました。とても大事に思い、神さまと思いを通い合わせることができるようにと「神のかたち」も与えてくださいました。そして、更に私たちがこの世界で生きて行くために必要なものをプレゼントしてくださいました。それが「彼に合う助ける者」です。なぜ、そうされたのかといえば「人はひとりであるのが良くない」からとあります。私たちがこの世界で生き抜くためには、一緒に助け合って生きていく「仲間」が必要だからだと。

最初、その“助ける者”として神様がプレゼントしてくださったのが「あらゆる家畜と野のあらゆる獣と空の鳥」でした。人は各々に名前を付けて各々と親しむことができたのですが、それらは完全には人に満足を与えることができなかったとあります。それで、神様は「そこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた」のでした。そして神様が、人と出会わせられた時、初めて「ついに、これこそ、わたしの骨の骨、わたしの肉の肉」だと“自分にぴったりに合う助ける者”として受け入れられたのでした。

以前の口語聖書では「ふさわしい」助け手と訳されていた、この言葉は(ケネグド)で、これは「彼の前に=向かい合える」という言葉です。一方通行でなく、ちゃんとその人と向き合える相手ということでしょう。それこそが

お互いにとっての真の“助け手”になれるのだと!

この「向かい合える」相手というのは、何も男女関係や夫婦関係だけに留まりません。夫婦でもちゃんと向き合えないならば「助ける者」にはなれませんね。今日は《母の日》です。私たちはみんな、誰でも“お母さん”を神様からプレゼントされています。いろいろな事情や状況はあるかもしれませんが、お母さんは私たちひとり一人に、ちゃんと「向き合ってくれる」最初の仲間ではないかと思いません。それは神様が「人はひとりであるのが良くない」からと備えてくれた方ではないでしょうか。お父さんも含めて生まれただけの私たちのお世話をし、お乳を与えてくれる人がいないと私たちは命を長らえることはできません。そのことこそ「人はひとりでは生きて行けない」ことを、良く表していると思いますが、いかかでしょう?

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 5月20日(水) 20:00
II. 5月21日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈禱主題: ペンテコステ礼拝・関東教区総会を覚えて

担当者: (水) AC (木) TM

祈りに覚える人 STさん SHさん

*ハンナの会 5月19日(火) 10:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男24 女62 計86

祈禱会 I. 男3 女1 計4 II. 男1 女5 計6

日曜学校 幼稚科7 小中科6 計13

【次週・ペンテコステ礼拝】 5月24日(日)

聖書: 詩編 16:7~11

使徒言行録 2:29~36

説教: 「ペンテコステ—命の道を教えてください」
武田 真治 牧師讚美歌: 343(1)、32、聖歌隊(417)、346、
342、92(1)

【次週当番表】

司式: HS 長老 奏楽: KH 礼拝: IK 長老

献金: KY SK 受付: KH SY

会堂準備: OK KH KA TN

NE

看板: NY 週報: YS お花: IY

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校礼拝 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・教会/伝道/礼拝/社会教育 各委員会

2026年 5月 17日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549